



# 風景づくりの人づくり



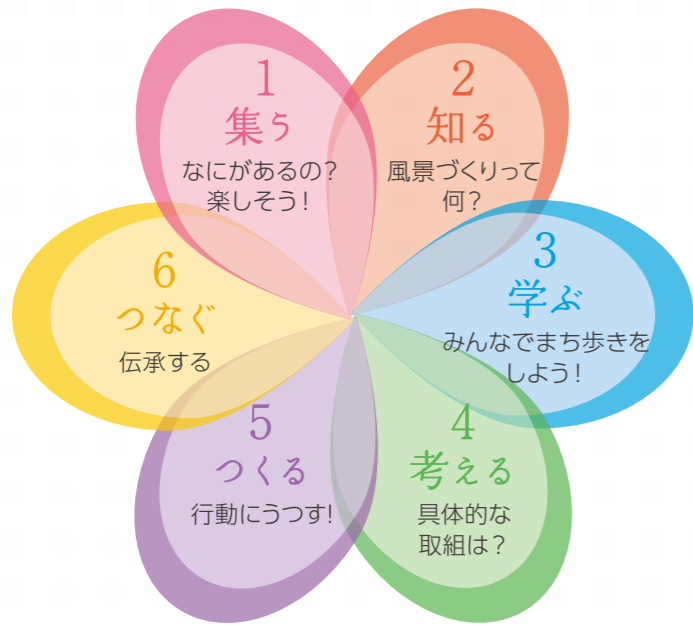
沖縄県土木建築部 都市計画・モノレール課  
令和6年3月

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 行政棟11階(南側・市役所より)  
電話番号:098-866-2408 FAX:098-866-5938

令和5年度  
沖縄らしい風景づくりに係る人材育成事業



# 風景づくり の 人づくり



## I. 風景づくりサポーターの育成

地域住民等を対象にまち歩きや実地研修等を通し、景観形成の担い手となる人材を育成します。

## II. 地域景観リーダーの育成

各地地区リーダーの意識醸成とネットワークづくりや行政担当者との連携づくりをねらいとして研修会を実施します。

## III. 景観行政コーディネーターの育成

県内市町村等の景観行政担当者を対象に、景観に係る基礎的また実践的研修を実施します。



「沖縄らしい風景づくり」には、  
風景づくりに貢献できる人材が  
必要です。

豊かな自然環境と固有の歴史文化から形成されてきたかつての沖縄の風景は、「美しい」と評された首里の都に代表されるように豊かなまちなみが形成されていました。しかし、その美しい風景・まちなみは先の大戦により破壊され、終戦後は、無秩序な都市化が進みました。その結果、かつての沖縄らしい風景・まちなみが失われてしまいましたが、近年、沖縄らしい風景を取り戻し、沖縄の魅力や県民の質的豊かさの向上を求める声があがってきています。

魅力あふれる沖縄らしい風景づくりには、環境や景観に配慮したまちなみの整備とあわせて、個性豊かな風景づくりに貢献できる人材が必要となるため、沖縄らしい風景づくり促進事業の一環として、風景づくりに貢献する人材の育成をスタートしております。

令和5年度は、“美ら島沖縄”風景づくり先導地区として認定された「首里城周辺地区」「浦添グスク周辺地区」の2地区を対象として、風景づくりに貢献する人材の育成を実施しております。



まずは「知ってもらうこと」から。  
「県民的なムーブメントの形成」が  
最終目的です。

沖縄県は平成24年に策定した「沖縄21世紀ビジョン基本計画（沖縄振興計画）」において「沖縄らしい風景づくり」の施策展開を位置づけ、時間とともに価値が高まる地域づくり「価値創造のまちづくり」をテーマに、沖縄の特性にふさわしい良好な景観の形成を促進していく「沖縄らしい風景づくり促進事業」をすすめてきました。

令和4年5月には、「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」を策定し、引き続き地域住民が主導的役割を担う風景づくりの推進体制の構築をすすめています。



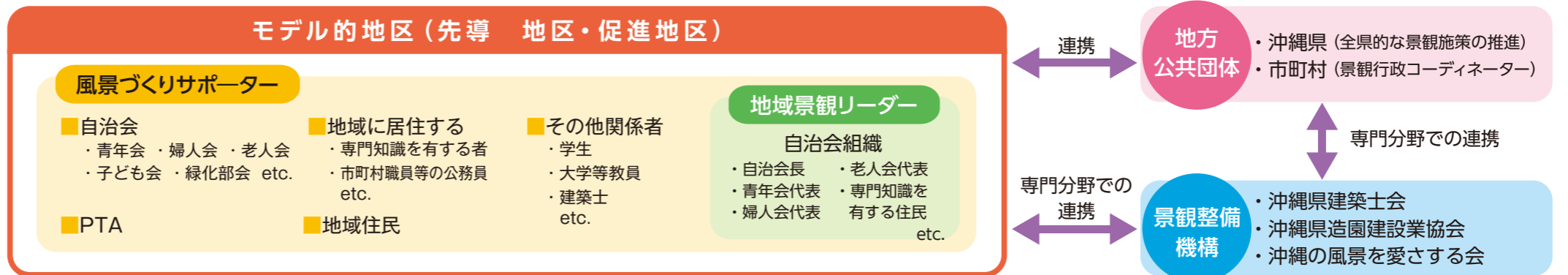
「風景」は、  
人が守り、つくってゆくものです。

沖縄の風景づくりに係る人材育成の中、とりわけ風景づくりサポーターについては、小中高生から働き盛り世代、高い年齢層まで、幅広い年齢層に対する人材育成が重要です。そのため自治会組織に働きかけ、子ども会や婦人会、老人会などと連携し各年齢層の参加を呼びかけます。



「風景づくりに係る人材育成事業」には、  
未来へつなぐメッセージがあります。

風景づくりは長い期間を要する取組です。この取組を、次の世代につなぐ取組がこの「沖縄らしい風景づくりに係る人材育成事業」です。単に活動の結果として生まれる風景だけではなく、その過程で集い、知り、学び、考え、つくるそれぞれの意味を感じ次世代へ伝えていきます。



### ～モデル的地区の種類～

“美ら島沖縄”風景づくり先導地区：  
本県の風景づくりのトップランナーとして他地区をけん引する地区

“美ら島沖縄”風景づくり促進地区：  
現に良好な景観が形成または景観形成に向けた取組が予定されており、風景づくり先導地区への移行を促進する地区

### モデル的地区とは

沖縄県特有の風土に根差したまちなみ景観や地域の人々の暮らしの景観など様々な魅力を有する地区を認定し、それらを守り・育てていくために官民一体の取組を支援することを目的としています。

モデル的地区に認定された地区は、その良好な景観が沖縄県共有の財産であることを認識し、それらの維持・向上に努めるとともに、沖縄らしい風景づくりのトップランナーとして良好な景観形成をけん引していく役割を担います。



# これからの風景づくりのために

## 首里ニシカタ地区

地域風景の記憶や言い伝えを次世代へ継承する  
“案内板の制作設置”活動

子ども達と地域巡りをする際、その場所の歴史文化、風景に興味を持つように、情報を得ることができるよう「大和井戸」「首里劇場跡地」「耳切坊主」の案内板を設置しました。また、案内板にはQRコードを設置し、英語翻訳や耳切坊主案内板では子ども達が歌うわらべ歌を聞くことができるように工夫しました。



仲間地区  
沖縄らしい花壇の修景づくりとして、赤瓦を活用



仲間地区  
ブロック塀づくり

## 仲間地区

沖縄らしい花壇づくり

自治会敷地内の古い花壇跡を修景し新しく造成しました。花壇のブロック設置箇所に赤瓦を配置し、背の低いサンダンカで揃えたことで、調和のとれた明るい景観を確保することができました。



首里ニシカタ地区  
耳切坊主の案内板



首里ニシカタ地区  
耳切坊主案内板の設置箇所確認の様子

## 首里三箇地区

琉球王府とゆかりがある聖地・弁ヶ岳公園の  
住民参加による清掃活動の実施

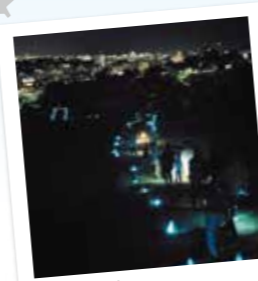
那覇市内最高の標高をもつ聖地、弁ヶ岳公園の清掃活動を近隣中学校や自治会委員との協力により実施しました。また、自治会の弁之井戸清掃の経験者を中心に弁之井戸の清掃を行いました。



首里三箇地区  
中学生や地域住民が参加した  
弁ヶ嶽清掃活動の様子



首里三箇地区  
弁之井戸(ビンヌガー)の清掃



前田地区  
遊歩道ライトアップの夜景

## 前田地区

子供たちとつなぐ浦添グスクの歴史文化と  
遊歩道ライトアップ活動

浦添グスクにふさわしい風景まちづくりを目指し、ワカリジーライトアップ期間に合わせて、親子で手作りしたペットボトルライトでグスク遊歩道をライトアップしました。



前田地区  
親子で製作した  
ペットボトルライトの配置

## 風景づくり促進地区候補

(令和6年2月現在)

### 旧「まちなみミュージアム候補地区」



壺屋地区  
那覇市

識名歴史エリア地区  
那覇市

都市機能用地地区  
浦添市

ゲート通り地区  
沖縄市



勝連城周辺地区  
うるま市

やちむんの里地区  
読谷村

勝山地区  
名護市

東江地区  
名護市



備瀬地区  
本部町

新興通り地区  
久米島町

渡名喜島伝統的建造物群  
周辺地区

サンティンモー地区  
糸満市



報得川周辺地区  
糸満市

米須地区  
糸満市

川平地区  
石垣市

観音堂地区  
石垣市



獅子森地区  
石垣市

竹富町伝統的建造物群  
周辺地区





## ① 首里ニシカタ地区の取組

～地域風景の記憶や言い伝えを次世代へ継承する“案内板の制作設置”活動～

### 《地区の概要》

- 「ニシカタ地区」とは、首里台地の北斜面、緩やかに起伏に富んだ地形上に位置する、かつての武家屋敷まちの総称です。首里王府時代には士族をはじめ地方按司らが大きな屋敷を構えていました。
- 大中町一帯は、戦後米軍による採石採取などにより高台が削られすっかり地形が変わってしまっていますが、隣接地域（当蔵町など）とともに、今でも拜所や御嶽、古井戸と石垣の面影、屋敷の緑、戦前からの細街路などが要所に残されています。
- 「ニシカタ地区」の一部である「龍潭通り沿線地区（平成14年景観重点地区指定）」では、首里の歴史的景観まちづくりが進展しています。
- 近年、集合住宅建設（中層）増加による景観への影響、観光交通による生活への影響、コミュニティの高齢化が懸念されていることから、観光と暮らしの両立を図る観点からも、古都首里の風情ある景観まちづくりを推進すべき重要なエリアとなっています。



中城御殿（ナカグシクウドゥン）跡地の石積



安谷川嶽（アダニガーダキ）

### 《今回の取組の概要》

令和5年	8月下旬～9月下旬	自治会長への挨拶（5自治会）、事業趣旨説明
	11月18日～12月17日	活動内容検討、案内板内容検討、デザイン・設置方法検討（作成する案内板：大和井戸、首里劇場跡地、耳切坊主）
令和6年	1月6日	現場にて、案内板設置箇所及び設置方法の確認
	1月21日	案内板デザイン・文章の最終確認
	2月12日、14日	案内板設置作業
	2月17日	子供会による耳切坊主の歌の合唱（録音）

### ワークショップ等の活動



今年度活動方向について確認



案内板講座：デザイン、設置方法等



現場調整（設置場所・方法検討協議）

### 実地研修の内容



既存の支柱を再利用して案内板を設置（大和井戸）



大和井戸の案内板



沿道壁面に設置した首里劇場跡地の案内板



跡地敷地内に設置した首里劇場跡地の案内板



耳切坊主の案内板設置箇所の確認  
歩行・車両動線の安全確保の観点から、龍潭側に設置場所を変更



耳切坊主の案内板  
QRコードを活用して地域情報を追加



地域自らのアイディアで子供たちが歌うわらべ歌の音源を録音、  
耳切坊主の案内板にあるQRコードから音源を聞くことができる。



### 今回の実地研修を通して

- 子どもたちに伝えたい景観について、「ニシカタ地区」の各地域にまつわる話や文化財（建造物）、思い出など地域景観リーダー自らの生活体験をもとに話し合うことができました。また、案内板づくり講座を開設し、地域発意・地域管理の案内板との認識のもと皆で協議し制作・設置まで行うことができました。
- ニシカタ地区・首里劇場跡地を散策した人から案内板に感動したとの投稿があり、今回の活動（案内板設置）が地域の風景の継承、ひろがり、土地の記憶の再生に効果があったことがわかりました。また、そのことで活動に関わったメンバーも活動意義を共有できました。
- 今回設置した案内板を活用して小学校児童など、次世代に語りつぐためのまち歩き活動の拡大に期待します。
- ニシカタ地区は古い石垣や古木、井戸、御嶽など歴史資源が豊富にあり、それを誰にどう知らしめるか、まち歩きの楽しみの演出と良好な景観づくりにむけて、さらなる地域発案内板の制作・設置が望まれます。



## ② 首里三箇地区の取組（首里鳥堀町自治会）

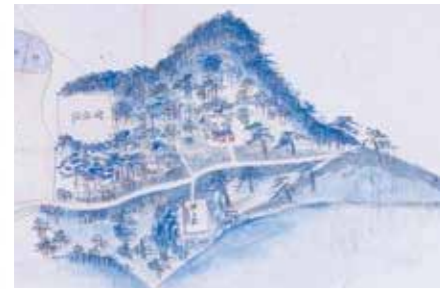
～琉球王府とゆかりがある聖地・弁ヶ岳公園の住民参加による清掃活動の実施～

### 《地区の概要》

- 首里三箇とは、崎山・赤田・鳥堀の三町を指す名称である。17世紀から18世紀にかけて、泡盛造りは首里三箇と呼ばれる地域内に限定されていました。この地域は湧き水が豊富で、水田も近かったため、醸造と蒸留に適していました。
- 首里鳥堀町には、那覇市内最高の標高をもつ聖地、弁ヶ嶽（ベンガダケ）があり、古くは首里城の東の守りとして重要視されていた地域のひとつでした。
- その中にある弁之御嶽（ビンヌウタキ）（国指定文化財）は、琉球王朝時代には、国王の健康や国家安穩の祈願など、国家的な祭祀を行う聖地であり、国王自らの参拝も行っていました。



首里城からみた首里三箇の戦前の様子 出典：那覇市歴史博物館 提供



首里古地図（部分） 出典：沖縄県立図書館 貴重資料デジタル資料室



国指定文化財 弁ヶ御嶽（ビンヌウタキ）



弁之井戸（ビンヌガー）



首里赤田町公民館



首里崎山馬場通り



首里崎山公園

### 《今回の取組の概要》

	11月12日	事業概要説明、活動内容検討 事業内容調整、活動内容決定
令和5年	12月19日	・弁ヶ岳公園の清掃活動に、より多くの地域住民を巻き込んだ活動（中学生への呼びかけ等） ・弁之井戸の浚渫
令和6年	1月14日	弁ヶ嶽公園清掃
	2月24日	弁ヶ嶽公園内にある弁之井戸（ビンヌガー）の清掃



沖縄神社（弁ヶ嶽公園）

### 実地研修の内容



首里中学2年生も参加した弁ヶ嶽清掃活動の様子



自治会委員等多くの地域住民が清掃活動へ参加



清掃前に御嶽やカーへ拝み



弁之井戸（ビンヌガー）の清掃

### これまでの実地研修を通して

- 1/14(日)の全体清掃は、新年の清掃活動ということで、地域の中学校も含め広く参加・協力を呼びかけたところ、より多くの地域の皆さんが参加しました。
- 2/24(土)の井戸清掃は、長年、落ち葉等が井戸の底に堆積しており「お水取り」を行うにも関わらず衛生的にも問題がありました。今回、これらを浚渫することで井戸の水質の改善につながりました。
- 弁ヶ岳公園一帯は弁ヶ嶽（ビンヌタキ）と呼ばれ、王府時代の祭祀が行われたとされていることから、清掃活動にとどまらず、その歴史を受け継いでいくための学習活動が必要です。



### ③ 仲間地区の取組

～沖縄らしい花壇づくり～

#### 《地区の概要》

- 浦添市中央部を通る丘陵地帯の一角、浦添グスクを背後に敷いた(腰当森・クシャティムイ)、近世琉球の伝統的な集落形態を維持した地区です。世界遺産追加を目指す浦添グスクのバッファゾーンとして、浦添市景観まちづくり条例に基づき重点地区に位置付けられています。
- 「仲間火ヌ神」や「クバサーヌ御嶽」「仲間ンティラ」「仲間樋川」など、琉球王国時代から残る拝所群が保存され、現在も集落の繁栄と安全を祈願する拝みが地域住民によって行われています。
- 平成25年の県人材育成事業を契機として、グスク通りの緑化活動や園地広場への桜の植樹など、意欲的に地域主体の景観管理活動が行われてきました。一方で、住民の高齢化により地域活動の担い手不足や継承が課題となっている地域でもあります。



仲間集落の通り



クバサーヌ御嶽 (仲間の拝所群)  
仲間集落の発祥の地と伝えられている



仲間ンティラ (仲間の拝所群)



仲間樋川 (仲間の拝所群)

#### 《今回の取組の概要》

令和5年	9月30日	事業説明、活動内容の検討 自治会役員・地域住民への事業説明
	11月12日	活動案の検討・意見交換→仲間自治会館敷地内の花壇跡の修景に決定
令和6年	12月3日	花壇跡修景活動開始
	1月7日～2月28日	週1回程度、花壇跡修景活動実施



集落内通りの所々に設置されている地域資源の案内板

#### 実地研修の内容



旧花壇跡。繁茂した植物がフェンスや電線を侵食しているとともに、敷地内を目隠している



自治会役員や近隣の住民が参加



繁茂している雑草や樹木を伐採



ブロック据えづくり



土を耕し、地中の石や根など不純物を除去



ブロック据えづくり



沖縄らしい花壇の修景づくりとして、赤瓦を活用



完成した花壇



#### 今回の実地研修を通して

- 自治会敷地内の花壇跡に繁茂していた植物を除去したことで、フェンスの破損や上部を伝っていた電線への接触の危険性が解消されるとともに、フェンスを覆っていた目隠しが取り払われ、背の低いサンダンカで揃えた調和のある明るい景観が確保されました。
- 引き続き地域活動に参加意向のある方たちを中心に、修景活動を行っていきます。高齢世帯の多い地域であるため、負担感の大きい取組ではなく、手軽かつ継続的にできる取組を推進していくことが期待されます。
- 住民の高齢化により、地域活動の担い手や継承が課題となっています。継続的な景観づくりのためには、後継者の育成や、取組やすい活動手法の検討が必要です。



## ④前田地区の取組

～子供たちとつなぐ浦添グスクの歴史文化と遊歩道ライトアップ活動～

### 《地区の概要》

- 浦添グスク丘陵東端にそびえ立つ巨岩・ワカリジーをシンボルとして仰ぐ地区です。井戸や拝所が多く、新暦8月に前田棒術と綱引きが演じられています。
- 浦添都市軸の一端を担う県道浦添西原線沿線地区(景観地区)に指定され、都市モノレール駅周辺広場の整備やグスクの麓にふさわしい歴史的景観づくりが促進されています。
- 集落の成り立ちや伝統行事、ワカリジーの保全継承等、昔ながらの地域の良さを活かした前田らしい風景まちづくりについて、自治会青年会・OBが中心になって、小学校の風景学習と連携した活動を展開しています。

### 《地区の特徴》

- 市内で最も高いワカリジーは、地区の要所、小学校やモノレール車窓からも浦添のランドマークとしての存在感を放っています。
- 沖縄戦最大の日米軍の激戦地であり、2017年ハリウッド映画「ハクソー・リッジ」の公開後、前田高地一帯への訪問客が増えています。

### 《今回の取組の概要》

令和5年	9月11日～10月1日	事業説明・意見交換、事業内容の検討
	10月2日～10月末	国指定史跡の現状変更申請、公園利用許可等の協議調整
	10月7日	グスク歴史学習・探検ツアーの開催
	10月11日～14日	遊歩道実測、試験点灯
	10月25日～26日	告知資料作成、人員配置・告知方法の検討
	11月3日	遊歩道ライトアップ実施
	11月4日	ペットボトルライトの片付け



前田小学校から浦添グスク丘陵・ワカリジー、浦添前田駅を望む



シリチン毛付近から浦添前田駅方面を望む

## 実地研修の内容



仮設資材の設置



親子でペットボトル色水づくり



親子で製作したペットボトルライトの配置



灯りのともったペットボトルライト



遊歩道ライトアップの夜景



遊歩道ライトアップとワカリジーライトアップの景観



遊歩道ライトアップ実施ルート



遊歩道ライトアップ景観

## ワークショップ等の活動



浦添グスク探検学習ツアーの様子



遊歩道実測及び点検



拝みの様子

## これまでの実地研修を通して

- 遊歩道ライトアップの意義を考える事前学習として、地域(前田小学校PTAや近隣自治会)と連携協力して、浦添グスク探検学習(風景学習)に取り組むことができました。
- 手作りのペットボトルライトで彩られた浦添グスク遊歩道の幻想的な風景に、参加者からは「次年度もやってもらいたい」との声が寄せられ、浦添の新たな魅力づくりにつながるインパクトのある風景・景観活動となりました。
- 子育てや仕事に多忙な若い世代が中心であったため、負担が大きく継続実施が課題となっています。世代間や地域を超えた協働や行政と連携協力した活動方法が求められ、早い段階で実施体制や作業工程等作成を行い、役割や人員配置を明確化するなど次回開催に向けた提案が出されています。
- 前田らしい良好な風景づくりにむけて、地区の伝統や生活文化、多彩な人材を活かし無理なく持続できる活動も期待されています。



## II. 地域景観リーダーの育成

沖縄らしい風景づくりや景観形成に向けて、“美ら島沖縄”風景づくり先導地区である「首里城周辺地区」「浦添グスク周辺地区」を対象に、那覇市（首里ニシカタ地区、首里三箇地区）浦添市（仲間地区、前田地区）の個性や課題、可能性に対する気づきを促し、地域景観リーダーの活動の場づくりや目標づくりに向けて知見を広げるなど意識醸成を図るとともに、各地区のリーダーとのネットワークづくりや行政担当者との連携づくりをねらいとして、全3回（全体講習会2回、4地区相互視察1回）の研修会を実施しました。

### 第1回研修会（全体講習会）

実施日／令和5年9月30日（土）

■ 13:30～16:30

〈場所〉 首里染織館（suikara）

〈内容〉

那覇市及び浦添市の景観行政担当者を講師に迎えて、地区特性や景観まちづくり実例、課題を確認後、地域リーダーとの意見交換、ワークショップを通して、各地区の活動の方向性について検討しました。



景観行政担当者による講義



地区の活動方向性等のワークショップ



景観リーダーによるワークショップ発表

### 第2回研修会（全体講習会）

実施日／令和6年2月3日（土）

■ 13:30～16:00

〈場所〉 沖縄県立博物館・美術館（博物館講座室）

〈内容〉

各地区の景観リーダーによる地区活動状況について報告を行いました。その後、ワークショップを通して、①第3回地域景観リーダー研修会に向けた視察ルートについて、②各地区活動を振り返り、今後の活動方向について検討しました。



地域景観リーダーによる活動報告



視察ルート検討ワークショップ



景観リーダーによるワークショップ発表



仲間地区・前田地区の視察ルート検討図



首里ニシカタ地区・首里三箇地区の視察ルート検討図

### 第3回研修会（4地区相互視察）

実施日／令和6年3月2日（土）

■ 9:15～16:30

〈視察先〉 浦添市（仲間地区、前田地区）、那覇市（首里ニシカタ地区、首里三箇地区）

〈内容〉

4地区相互視察（交流）を通して、今年度活動箇所（場所）、成果、または景観資源等、各地区の魅力共有しました。その後、相互視察を振り返りました。

#### ●浦添グスク周辺地区（仲間地区・前田地区）



復元された仲間樋川の説明を受ける様子



仲間地区活動箇所（花壇跡の修景）



仲間集落内の通りを視察



前田地区活動場所・ライトアップ  
（ワカリジーに続く遊歩道）



ワカリジーの説明を受ける様子



前田部落拝所の森（グリーン毛）

#### ●首里城周辺地区（首里ニシカタ地区・首里三箇地区）



首里三箇地区・鳥堀町の活動場所  
（弁ヶ嶽公園）



新首里赤田町公民館で説明を受ける様子



崎山馬場の説明を受ける様子



首里ニシカタ地区・池端町活動箇所  
（大和井戸の案内板設置）



首里ニシカタ地区・大中町活動箇所  
（首里劇場跡地の案内板設置）



首里ニシカタ地区・当蔵町活動箇所  
（耳切坊主の案内板設置）



### Ⅲ. 景観行政コーディネーターの育成

景観施策の実施主体となるのは主に市町村です。市町村の景観施策を促進するため、県内市町村の景観行政担当者を対象に、景観の実務に関する知識および技術の向上を図ることを目的として、景観行政コーディネーター研修会(講習会2回、県外視察1回)を実施しました。

#### 基礎的研修

基礎的研修は、県内市町村景観行政担当者を対象に、県内外講師による景観に係る基礎的講習を行い、景観に関する知識向上を図りました。

#### ●R5年度景観行政研修会プログラム【基礎編／行政担当者(半日×3回)】

日	会場	時間	講義	担当講師	講義タイトル	講義等の概要
1日目 10月30日(月)	県教職員 共済会館 八汐荘 屋良ホール	9:30 ~9:35	①ガイダンス	事務局	ガイダンス	研修の主旨とプログラムの案内
		9:35 ~10:05	②講義	沖縄県	沖縄県の景観施策の取組	沖縄らしい風景づくり支援事業の取組について
		10:05 ~10:40	③講義	沖縄県	公共事業と評価システム(沖縄県景観評価システムの概要)	公共事業における景観評価システムの導入方法について
		10:40 ~11:40	④講義	伊良波 朝義	建築景観	建築と景観まちづくりについて
	那覇市 首里 金城町	14:00 ~17:00	⑤現地研修+ 意見交換(WS)	那覇市 首里金城町 自治会	那覇市における風景・景観まち づくりの取組※現場研修	景観まちづくりの実践例と地域の取組み成 果等研修する
2日目 10月31日(火)	アイム ユニバース てだこ ホール 多目的室1	13:35 ~14:15	⑥講義	安里 直美	景観教育について	沖縄県における風景学習の実績(H30年度 都市景観大賞)と景観教育のあり方について
		14:20 ~15:05	⑦講義	古波蔵 健	土木景観	公共土木施設と景観形成のありかたにつ いて、そのモデル事例と方策
		15:10 ~15:40	⑧講義	比嘉 謙太	街路樹景観	沖縄県造園建設業協会が取り組んでいる、沖縄 の街路樹を含めた街路景観のあり方と、その管 理システム(DX)、モデル事例の紹介を行う
		15:45 ~17:15	⑨講義+WS	田邊 学	色彩計画とワークショップ	色彩景観計画の基本的な考え方や色彩を活か した景観まちづくりの事例等に学び、ワーク ショップを通して景観色彩基準の策定と運用に ついて考える

#### 実践的研修

実践的研修は、県内市町村景観行政担当者を対象に、県内外講師による景観に係る実践的講習を行い、景観の実務に関する知識及び技術の向上を図りました。

#### ●R5年度景観行政研修会プログラム【実践編／行政担当者(半日×3回)】

日	会場	時間	講義	担当講師	講義タイトル	講義等の概要
1日目 11月6日(月)	アイム ユニバース てだこ ホール 多目的室1	9:30 ~9:35	①ガイダンス	事務局	ガイダンス	研修の主旨とプログラムの案内
		9:35 ~10:10	②講義	(代理)沖縄 県都市計画・ モレール課	読谷村の景観形成の取組～景 観計画と景観地区の指定につ いて～	県内自治体における景観地区の実践事例を紹 介、概説し、そこでの工夫を学ぶ
		10:15 ~10:50	③講義	石垣市	石垣市景観地区の指定について	県内自治体における景観地区の実践事例を紹 介、概説し、そこでの工夫を学ぶ
		10:55 ~12:00	④講義	服部 敦	文化的景観を基礎概念とした地 域計画の策定と実践-北大東島 における取組事例から-	令和2年度に都市景観大賞の都市景観部門の 優秀賞を受賞した北大東島の準景観地区指 定・文化的景観の継承と創造における地域づ くりについて学ぶ
	浦添市 仲間	14:00 ~17:15	⑤現地研修+ 意見交換(WS)	浦添市 仲間自治会	浦添市における景観まちづくり 実践例※現場研修	風景・景観まちづくりの実践例を現地で体験 研修する(仲間地区・前田地区の景観まちづく りの実践と成果)
2日目 11月7日(火)	アイム ユニバース てだこ ホール 多目的室1	12:40 ~13:30	⑥講義	太宰府市	太宰府の景観計画と歴史のまち づくり	県外事例視察先の自治体職員を講師とした事 前学習。太宰府らしい個性的な景観形成と歴 史のまちづくりの取組に学ぶ
		13:40 ~14:30	⑦講義	仙台市	「社の都」の都市緑化政策・みど りのまちづくり	「社の都」の環境をつくる条例」に基づく都市緑 化、百年の杜づくり等のみどりのまちづくり の実践例、工夫等について学ぶ
		14:40 ~15:25	⑧講義	山藤 浩二	景観誘導と屋外広告物	那覇市、その他における景観誘導の取組と屋 外広告物のあり方について学ぶ。
		15:35 ~17:15	⑨意見交換(WS)	事務局	意見交換(WS)	研修会全体の総括 意見交換による課題把握



講義の様子



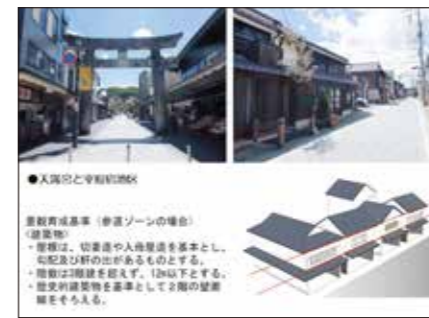
沖縄県の景観形成の取組概要



色彩計画ワークショップの様子



講義の様子



太宰府市の景観育成基準



ワークショップの様子



風景学習における多様な連携



那覇市首里金城町の取組視察



意見交換の様子(那覇市首里金城町)



北大東村の景観計画と総合計画概要



浦添市仲間地区の取組視察



意見交換の様子(浦添市仲間地区)



県外先進地事例研修

県内市町村景観行政担当者を対象に景観重点地区等の指定及び運用、また景観協議会設立や歴史まちづくり計画の事業実施に関する先進地について現地研修を行い、風景づくりに係るスキル向上を図りました。

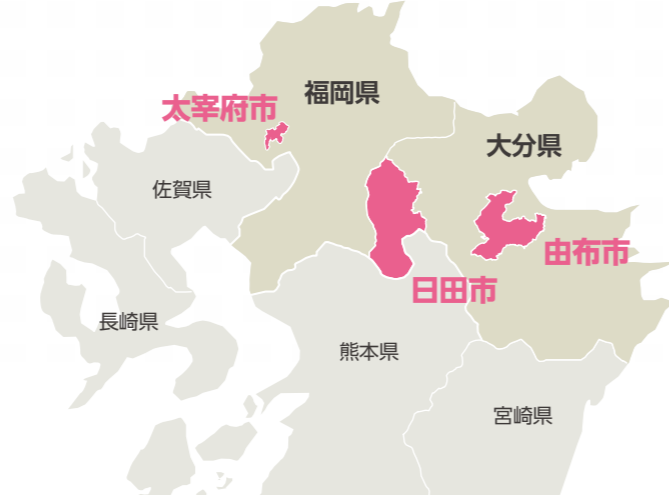
福岡県太宰府市 一日目

- 実施日/令和5年11月21日(火)
- 研修内容

古都太宰府の景観・歴史まちづくりの取組の視察は、景観行政コーディネーター研修会(実践編)受講後に実施しました。太宰府市役所担当者の案内により太宰府天満宮周辺また国特別史跡大宰府政庁跡を視察し、景観計画景観育成地区の参道まちなみや歴史的風致維持向上計画による修繕事業等、具体的に説明をしていただきました。参道では由緒ある社寺、歴史と伝統、暮らし、祭りを反映した個性的なまちなみと賑やかな通りが演出され、国特別史跡大宰府政庁跡は古代遺跡に触れることができる緑地として地域の人に親しまれていました。



太宰府天満宮参道 庇のある景観 緑化率工夫による緑地の創出  
景観重要建造物 大宰府政庁跡前 視察後のWS



大分県日田市 二日目

- 実施日/令和5年11月22日(水)
- 研修内容

豆田町まちづくり歴史交流館で日田市役所の担当者より豆田町の景観まちづくりについて講義を受けた後、景観形成重点地区と伝統的建造物群保存地区を視察しました。修理・修景の補助や耐震補強の実施、無電柱化の推進、古民家を活用した地域活性化の取組など、地域の歴史や文化を活かす美しい景観を形成するための様々な取組が実施されておりました。



日田市職員による講義 日田市職員とのまちあるき 豆田町の町並み

大分県由布市 二日目

- 実施日/令和5年11月22日(水)
- 研修内容

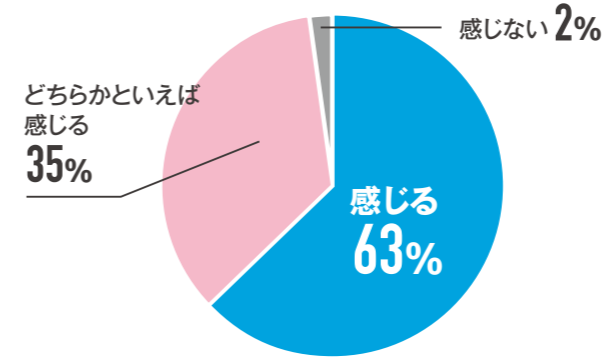
由布市役所の担当者より由布市景観まちづくりの取組について講義を受けた後、湯布院駅周辺及び湯の坪街道を視察しました。「湯の坪街道周辺地区」は景観協定が締結されており、「看板協定」や「商い協定」など地域主体の運用により、魅力的な通り景観と生活空間づくりが進められていました。



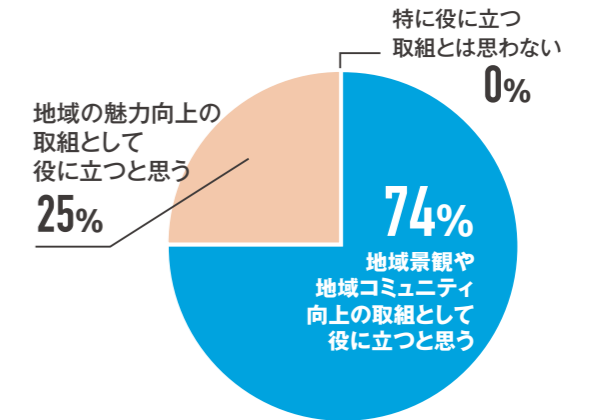
国指定重要文化財(草野家住宅・日田市) 湯布院駅前通りの眺望  
由布市職員による現地説明 湯の坪街道 霽田気のある金鱗湖の風景

4地区で風景づくりサポーター活動の参加者に対してアンケート調査を実施し、57名の方から回答がありました。その一部を紹介します。

あなたの地区は「沖縄らしい独特で魅力のある風景」だと感じますか？



景観講習会やまちあるき、景観に関する活動の取組について、あなたの考えを教えてください。



風景づくりを地域主体で継続する上で必要なこととして、地区内の多様な活動団体や住民等との連携・協働、地区の風景づくりの担い手育成、地区の活動目標づくり、活動のための資金調達などがありました。

ポータルサイト

ふうけいゆいゆい

# 風景結々

web <https://www.fukei-okinawa.jp/>

「風景結々」は、沖縄県の風景づくりに係る情報をワンストップサービスで体験できるポータルサイトです。風景づくりに係る取組について情報を発信することで国内外に沖縄の観光地としての魅力を伝え、認知度を高めるとともに県民の「沖縄らしい風景づくり」への意識や機運を高めることを目的として構築しました。

景観づくりの基本的な考え方から実際に活かすまでをわかりやすくコンテンツ化し、沖縄のさまざまな風景写真を楽しく見ることができる「沖縄風景アーカイブ」では、風景写真の収集において古写真だけでなく、各地域の現在の写真も積極的に収集し充実拡大することで、継続的展開を図ります。

「風景結々」は景観行政や沖縄県の風景づくりの取組及び景観づくりに関する協議会の活動について、より効果的な情報発信を行うことを目的として令和5年度にリニューアルしました。よりシンプルで見やすくなった「風景結々」、会員の活発な情報発信など、今後の活用が期待されます。

リニューアル後の「風景結々」新トップ画面(PC)



新スマホトップ画面

